

予想と結果の違いから始まる次への探究

校長 大谷 京司



9月7日(土)、多くの保護者ご参観のもと、恒例の自由研究発表会を実施しました。

今年も実に多様なテーマで、発表を聞く前からみんなワクワクしていました。

研究の取り組み方も実験や体験、インタビューなどを交え、伝え方についてもグラフや写真を上手に活用したり指示棒を使ったりとより分かりやすい発表につなげることができていました。

ほとんどの発表では、実験や調査をする前の自分の予想と結果の間に多少の違いがありましたが、その原因に鋭い考察を述べている児童の発表は聞いている児童にとってもとてもよい学びにつながったと思われま

す。探究の授業「プロジェクト」を始めて3年目となりますが、テーマ設定や自分の疑問への迫り方、まとめ方や発表の仕方等少しずつですが意識の高まりを感じます。

ご家庭でも、今回の自由研究発表会を1つの機会に、授業の「プロジェクト」についてもお子さんと会話を交わしながら、さりげないご支援をいただくとお子さんの学びもより深くなると思います。



みそ天地返し

今年の2月末、自分たちで味噌づくりをして、仕込んでから約半年たちましたが、樽の中は…

うっすらと青や白いカビが見られたり、たまり醤油が染み出していたりしました。それらを取り除いて木のへらで底の方から天地返しした後、それぞれのグループの味噌や醤油の試食・試飲を少しだけしてみました。「おいしい!」「おいしくないグループのものもあった」「チーズのような味がした」など感想はさまざまでした。



全学年で力を出し切った私学音楽会

9月19日(木)、神奈川県内の私立小学校(今年度は17校が希望参加)が神奈川県民ホールに集い神奈川県私立小学校音楽会が開催されました。

今回の本校の合唱は、「世界がひとつになるまで」と「希望の歌」の2曲です。ファミリーフェスタで披露した時にはまだまだ音程が不十分だった部分もありましたが、自分たちの歌っている姿を毎回ビデオで確認しながら、改善点を出し合いパート練習にも力を入れていった結果、本番では低学年もしっかりと自信をもって自分のパートを歌い上げ、高学年も表情豊かに美しい歌声を響かせることができました。

他校の合唱や器楽合奏は高学年中心ということもありますが、大変見ごたえ聴きごたえがあり、子どもたちにとっても大変良い刺激になったと思います。



自修館中高校生と共に SDGsを考える

9月25日(水)、自修館中等教育学校の生徒会の呼びかけで、初等学校の児童と中高校生22人が一堂に会し、SDGsについての特別授業が行われました。

今年で3年目になる取り組みですが、今年度は、自然環境保全センターへの訪問のほか、SDGsボードゲーム“Get the Point 厚木市版”を体験して、ゲームを楽しみながらSDGsへの理解を深める機会をもちました。

このゲームの開発者である門川さんからゲームの説明を受けると、1回目、子どもたちはどうやって自分のポイントをたくさん稼ぐか考えながら夢中になって取り組みました。2回目、今度は資源をなくさないようにグループみんなのポイントを多くしようという目標で進めたところ、どこのグループも資源がなくなることなく、しかも高い合計ポイントを稼ぐことができました。次の世代にまで資源を残しながらみんなで豊かになることが可能であるということはこのゲームを通して学ぶことができ、これからの行動変容につながる絶好の機会となりました。

